

AG PRESS

大学だより

AICHI GAKUIN UNIVERSITY

Jan. 2018 [vol.205]

【特集】

カケル学び 連携から広がる スタディフィールド

TOP MESSAGE

新年のご挨拶

シェーカツの現場から
売り手市場

アトリウムの夜景

(名城公園キャンパス)

多くの学生たちが集い行き交う
昼間とは異なる表情を見せる、
夜のアトリウム。アーチ型のスケ
ルトン屋根が夜空を映し、ライト
アップされた吹き抜け空間は凜
とした空気に包まれます。



巻頭言

—— 新年の
ご挨拶 2018

さらなる向上発展に向け 教職員一丸の努力に期待。

学校法人 愛知学院 学院長 小出 忠孝

中部地区きつての総合大学として
さらなる進化を遂げる年に

新年明けましておめでとうございます。

愛知学院は1876年に設立され、本年創立142周年を迎える中部で最も古い歴史と伝統をもつ私学です。戦前は旧制中学でしたが、戦後の学制改革の際、将来の高等教育の重要性を予見し、中部地区で最も早く短大・大学を創設し、中部地区の高等教育を先導して以来、本学は私立大学のリーダー校として戦後の私学の発展に多大な貢献

をしてきました。現在本学は日進、楠元・末盛、名城公園の3つのキャンパスに9学部と短大に学生1万2000名を有する総合大学となっています。そのうち日進校地は、42年前の学院創立100周年を記念して、名古屋市東郊の日進地区に50万㎡の広大な土地を取得し、最新の教育・研究施設、運動施設、学生駐車場も完備し、理想的な郊外型大学キャンパスとなりました。

さらに本学では4年前に名古屋市の中心名城公園東に、ビジネス系3学部を都心回帰させ、新しい教育研究を始めました。また昨年名城公園校地の南隣地も取得し、法学部を都心回帰させる予定です。大名古屋市の中心にあり、周囲に官庁街、企業の各支店が密集しており就職活動にも最適で、その効の大なる事を期待しています。また末盛交差点の歯学部附属病院の耐震改築工事については、現在検討委員会にて鋭意検討中で、近く基本方針が決定される予定です。東海地区唯一の歯学部附属病院として恥ずかしくない病院を、再出発させるべく現在努力しております。以上、新年にあたり一歩一歩向上発展すべく努力中ですが、大学の教職員全員が、大学の評価を高めるべく尽力されることを祈念致します。



大学力の向上に向けた

さまざまな取り組みを強化促進

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、恙無く新春をお迎えのことと慶賀に存じます。晦極まり、清輝晨に輝く清々しい年頭をお迎えのことと存じます。本年がよりよき歳となりますよう心より願っております。

愛知学院は本年、創立142周年を迎え、建学の精神である「行学一体・報恩感謝」を堅持しつつ、「知の習得・実践とともに、協働の場でリーダーシップを発揮し、周囲への感謝の心を忘れない」人材の育成に努力しています。学生諸君には、豊かな人間性と高い倫理観を兼ね備え、広い教養と深い専門知識を習得して、社会に貢献できる人になっていただきたいと願っています。そのためには、教職員各位が等しく大学の現況を理解して、「和」の精神で一致協力し、誇り

社会の要請に応える 大学像の実現をめざして。

愛知学院大学
学長 佐藤 悦成

を持つて職務を誠実に遂行して下さるようお願いいたします。

現在、本学が取り組んでいます教育の充実、官産学との連携の促進、グローバル化への積極的取り組み等は、大学力の向上に必須の要件です。大学を取り巻く昨今の厳しい社会環境の中に在っては、学内が一致協力して難局に対処してゆくことが不可欠であることはいうまでもありません。

本学では教育目標を実現するために、PDCA(計画、実施、評価、改善)サイクルを向上へのスパイラルで描きつつ、充実した改革を継続的に進める努力を続けています。その中で、学生諸君が「洞察力」「実行力」「創造力」を養うことが、社会の要請に応えられる大学像と考えています。本年も引き続き、皆さまの厚いご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸とご繁栄を心より祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。教務では、教育力の向上に向けて先生方の協力を仰ぎながら、その体制作りに力を注いでおります。今春には、文部科学省に教員養成の再課程認定を申請いたします。全国的に教員免許の見直しが叫ばれる中、本学ではより一層、養成課程の充実を図ってまいります。また平成32年度に大学基準協会の認証評価を受けるべく、現在準備を進めております。評価のポイントはいかに学生の皆さんが卒業時に学士力をつけるかにあります。教職員一丸となってこの目標に邁進してまいります。



愛知学院大学
後援会会長
池田 雅彦



愛知学院大学
学長補佐・教務部長
引田 弘道

TOPICS
01

10月14日(土)、愛知学院創立141周年記念式典が日進キャンパス100周年記念講堂で挙行されました。中野重哉理事長の式辞に続き、平成29年度永年勤続表彰、クラブ表彰、特別表彰(歯学部歯学部優勝)、特別賞表彰が行われ、58名の教職員、99名のクラブ学生、26団体のクラブ、平成29年司法試験合格者2名が表彰され、大原敏正後援会副会長、伊藤桂子法学部同窓会長が祝辞を述べました。

教養部	客員教授	尾崎孝之	講義	宮地誠
経済学部	教授	酒井邦雄	准教授	近藤浩
歯学部	教授	金森孝雄	教養部教務課	早川実良
歯学部	准教授	山田正巳	人事部課長	石垣孝浩
歯学部	講師	橋本洋子	名城公園キャンパス事務室係主任	神谷美奈
歯学部	主幹	榎野政代	財務部会計課事務職員	井上純子
歯学部	教授	梅川正美	歯学部事務局長	奥山久美子
歯学部	教授	高木敬一	歯学部事務局長	倉地智美
歯学部	教授	山野嘉朗	歯学部事務局長	佐竹明子
歯学部	教授	堀田敏幸	歯学部事務局長	市川敦子
歯学部	講師	田中清雄	歯学部事務局長	服部宏江
歯学部	主幹	藤村信隆	歯学部事務局長	赤根のり子
歯学部	主幹	伊藤孝真	歯学部事務局長	鈴木容子
歯学部	主幹	足立祐輔	歯学部事務局長	松本純子
歯学部	主幹	小島和枝	歯学部事務局長	宇都宮久美子
歯学部	主幹	中野真由美	歯学部事務局長	青山あゆみ
歯学部	主幹	相村加津美	歯学部事務局長	岡田義昭
歯学部	主幹	眞新薫	歯学部事務局長	丹下博文
歯学部	主幹	唐沢好恵	歯学部事務局長	渡邊隆俊
歯学部	主幹	福村なぎさ	歯学部事務局長	堅田研一
歯学部	主幹	早川純子	歯学部事務局長	原田純
歯学部	主幹	三浦郁代	歯学部事務局長	林潤一郎
歯学部	主幹	森智恵美	歯学部事務局長	柴田哲雄
歯学部	主幹	安藤充	歯学部事務局長	酒井直
歯学部	主幹	片山和男	歯学部事務局長	富田一文
歯学部	主幹	中田和彦	歯学部事務局長	鈴木宏伸
歯学部	主幹	尾崎孝之	歯学部事務局長	横江誠
歯学部	主幹	酒井邦雄	歯学部事務局長	村田まり
歯学部	主幹	金森孝雄	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	山田正巳	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	橋本洋子	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	榎野政代	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	梅川正美	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	高木敬一	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	山野嘉朗	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	堀田敏幸	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	田中清雄	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	藤村信隆	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	伊藤孝真	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	足立祐輔	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	小島和枝	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	中野真由美	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	相村加津美	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	眞新薫	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	唐沢好恵	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	福村なぎさ	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	早川純子	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	三浦郁代	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	森智恵美	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	安藤充	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	片山和男	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	中田和彦	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	尾崎孝之	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	酒井邦雄	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	金森孝雄	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	山田正巳	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	橋本洋子	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	榎野政代	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	梅川正美	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	高木敬一	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	山野嘉朗	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	堀田敏幸	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	田中清雄	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	藤村信隆	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	伊藤孝真	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	足立祐輔	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	小島和枝	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	中野真由美	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	相村加津美	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	眞新薫	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	唐沢好恵	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	福村なぎさ	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	早川純子	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	三浦郁代	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	森智恵美	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	安藤充	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	片山和男	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	中田和彦	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	尾崎孝之	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	酒井邦雄	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	金森孝雄	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	山田正巳	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	橋本洋子	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	榎野政代	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	梅川正美	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	高木敬一	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	山野嘉朗	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	堀田敏幸	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	田中清雄	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	藤村信隆	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	伊藤孝真	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	足立祐輔	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	小島和枝	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	中野真由美	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	相村加津美	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	眞新薫	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	唐沢好恵	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	福村なぎさ	歯学部事務局長	
歯学部	主幹	早川純子	歯学部事務局長	

生まれたモノ、コト コラボレーションで

イオンリテール 株式会社



子ども向けイベント 「ハタラクKIDS MALL」

長久手市が主催しイオンモール長久手がスポンサーとなった小学生の職業体験イベント「子ども夢の商店街 ハタラクKIDS MALL」の企画・運営に参画。当日は学生たちがスタッフとして現場に入り、子どもたちの主体的な行動をサポートしました。

平成29年
3月22日
連携協定
締結

連携の目的 ▶ 多様な分野で相互に連携・協力し社会の発展に寄与する



カケル学び

連携からひろがるスタディフィールド

社会を生き抜く力を身につけるために、実践的な学びの機会を欠かせません。そのため、愛知学院大学では地域や行政、企業と積極的に連携。さまざまなコラボレーションから学びは広がりを見せ、新たな可能性が生まれています。大学と社会の「カケル」の成果をご紹介します。

連携の目的 ▶ 大学の活動・教育・研究の発展および厚沢部町の活性化



「北海道あさぶショップ」 「あさぶ×猿カフェ in 愛知学院大学」

「世界一素敵な過疎のまち」をめざす厚沢部町に学生たちがホームステイ。農業体験や地域交流により感じた地域の魅力を発信し、移住者や滞在者が増えるようなPR活動を積極的に行なっています。産地直送の野菜や特産品を販売するアンテナショップ運営、名城公園キャンパス内のカフェで特産品を使ったメニュー提供を行ったほか、instagramでの情報発信、ラジオ出演などを通じ、厚沢部町の魅力をアピールしました。

北海道 厚沢部町



平成29年
7月3日
連携協定
締結

《企業》

民間企業との
連携でビジネスを
実践的に学ぶ

《地域》

地域活性化に
向けた施策を
企画・実践

《行政》

行政や官庁との
連携で社会貢献の
手法を学ぶ

いちい 信用金庫



商品開発・お菓子フェアへの出展 企業との商談

いちい信用金庫主催の大規模な「お菓子フェア」に出展。経営学部が企画開発した「なごめん」「くるくるなごみかん」などの商品250個を完売しました。フェアに先駆けた商談会では、小売、通信販売、高速道路会社など5社と商談し、各企業のバイヤーからフードビジネスのヒントを得ました。

連携の目的 ▶ 企業が抱える課題の
解決や学生への金融教育、
地域企業インターンシップの実施

平成27年
3月17日
連携協定
締結

あいち尾東 農業協同組合

平成29年
1月13日
連携協定
締結



産直品を使ったレシピ考案 野菜の学内栽培

「食から考えるセカンドライフ～健康づくりは食から～」を日進キャンパスで開催。心身科学部健康栄養学科の学生たちが事前に圃場・産直所を見学して農産物の生産や流通、品質の安全・安心への知識を深め、JAの産直品を使ったレシピ考案、セミナー参加者の昼食170食分の調理につなげました。また、JA職員の営農指導のもと学内でトマトやバジルを栽培。食や栄養の学びを深めています。



連携の目的 ▶ 健康・食・農をつなぐ地域農業の
振興などを通じ地域社会の発展に寄与する

プロバスケットボールチーム・シーホース三河と連携協定を締結。学生が客観的な立場で運営に携わることで、ファンに近い視点で情報発信や観戦者の満足度向上をはかりながら、プロスポーツ興行を通じて地域社会に貢献することをめざします。

平成29年
2月14日
連携協定
締結

『ホームゲームを盛り上げる「愛知学院DAY」の企画・運営』

昨年4月1日(土)2日(日)、ウイングアリーナ刈谷で行われた京都ハンナリーズ戦において、試合観戦を盛り上げるイベント「愛知学院DAY」を開催。“WE LOVE SPORTS!”をテーマに、心身科学部健康科学科の学生たちが満足度向上によるファンづくり、今後の集客につながる施策の企画に取り組みました。シーホース三河の担当者と打ち合わせを重ねて試行錯誤した結果、自分たちのアイデアをもとに来場者体験型イベントや特別グッズの販売、スペシャルゲストのトークショーなどを実現。当日の会場は大いに盛り上がり、学生たちはスポーツビジネスに携わる醍醐味を実感していました。



学生たちの企画で実現した催し

- リオデジャネイロ・オリンピックの金メダリスト 登坂絵莉選手のトークショー&記念撮影会
- フリースタイルバスケットボーラー ZINEZさんのスペシャルパフォーマンス
- シーホース三河の選手がプロデュースしたハンバーガーの販売
- VRを使ったバスケットボールゲームなど体験型アクティビティ

Comment

チームスタッフなど社会人の方々と接する機会が増えたことで知識の幅が広がり、卒業後の進路にもつながりました。チャレンジしてよかったと思います。

心身科学部 健康科学科 4年
伊藤 愛実さん



全国でも珍しい私立大学同士の連携で探る、学びの広がり地域貢献。

大学間の交流の推進により、双方の教育の質向上、教職員の交流、人材育成、地域社会への貢献などをめざし、本学と中部大学が連携協定を結びました。これを機に11月4日(土)、本学名城公園キャンパス「明倫」にて大学連携協定締結記念シンポジウム「大規模災害に備えて」—いわゆる防災・減災の観点からのシンポジウム—を両学合同で開催。本学の法務支援センター初川満教授、中部大学中部高等学術研究所長の福井弘道教授のほか、両大学から都市建設工学や国際協力法などの専門家が、さまざまな観点から防災対策や緊急事態の対処法についての講演を行い、両学の学生たちは熱心に聴講していました。シンポジウムには、本学・佐藤悦成学長と中部大学・石原修学長も出席。会全体の総括を行い、連携による学びの広がり、両学の発展について再確認しました。今後のさまざまな取り組みに、ご期待ください。

連携協定を推進してきたキーパーソン

Close up!

佐藤 悦成 学長



今回の連携協定は大変多くの方々のご協力とご支援があって実現しました。本学では、田中淳子法務支援センター所長に最初の橋渡しからご尽力いただきました。また、連携事業の記念シンポジウムでは同センターの初川満教授にお力添えをいただきました。中部大学からは、石原学長はじめ執行部の先生方、また、パネリストをお勤めいただきました先生方のご協力にも大変感謝しています。今後の連携事業の発展に期待していただきたいと思います。

大学間連携

pick Up

2

中部大学

産官学コラボレーションのパートナー

ほかにも、さまざまな分野の団体・企業などと連携し、多くの実績を残しています。

産 INDUSTRY		官 GOVERNMENT	学 ACADEMIA
● 企業 ● アイ・アンド・ジー・コーポレーション 株式会社	● 地域 ● 愛知県商店街振興組合連合会・名古屋市商店街振興組合連合会 ● 中部社会経済研究所	● 行政・官公庁 ● 財務省東海財務局 ● 農林水産省東海農政局 ● 岐阜県 ● 静岡県	● 高校 ● 愛知高校 ● 惟信高校 ● 愛知総合工科高校



盛況だった秋のオープンキャンパス

10月7日(土)、秋のオープンキャンパスを開催しました。学びをリアルに体験できる模擬授業や体験学習、人気予備校講師による推薦入試対策講座、入学前の不安・心配を解消できる相談コーナーなど、充実した内容で展開。愛知学院大学の学びやキャンパスライフについて、多くの高校生や保護者の方が楽しみながら理解を深めてくれたようです。

◎楽しみながら学びにふれられる 模擬授業や体験学習

性格診断で心理学の面白さを紹介した心理学科、源氏物語図屏風を見ながら古典文学に親しむ機会を提供した日本文化学科、外国人教員によるオールイングリッシュ授業を実施したグローバル英語学科など、各学部学科が工夫を凝らして学びの体験の場を提供しました。

◎学生目線のリアルな大学紹介

学部ならではの学びや卒業後の活躍のイメージ、海外研修や留学についてなど、学生たちが自らの経験をもとに具体的に紹介。高校生たちは先輩の生の声に熱心に耳を傾けていました。



◎一人ひとりの未来を応援する 就職サポートについても紹介

学部担当制によるきめ細かな支援や数多くの支援プログラムなど、本学の厚いサポートを紹介する就職ガイダンス、ベテラン職員による公務員試験合格に向けたアドバイスも好評でした。



◎予備校講師や学生による 入試対策サポート

人気予備校講師による推薦入試分析、勉強方法や試験前の緊張のほぐし方など、学生の実体験に基づいたアドバイスなども実施。高校生は真剣な表情でメモを取っていました。



◎充実のキャンパスライフを体験

学内施設やおすすめスポットを見学するキャンパスツアー、クラブ・サークル活動の紹介なども学生主導で行い、参加者は楽しみながら学生生活のイメージを膨らませていたようです。



平成29年度 文系1年生 保護者対象個別相談会開催

11月4日(土)、日進キャンパスけやきテラス3階にて、文系1年生保護者対象個別相談会が行われました。今年度から始めた新たな取り組みにもかかわらず、94組136名の保護者の方々にご参加いただき、成績や就職等に関する多くのご相談やご要望を頂戴するなど、非常に有意義な会となりました。参加者からは「初めての成績についての詳しい話が聞けてよかった」「毎年開いてほしい」などの感想もいただきました。

大学後援会では、全国の会員の皆様と大学との連携を図るために、毎年6月に全国各地

で全学部対象の支部別懇談会を行っています。今回と同様に、ご子女の学生生活・成績・就職等についてご相談いただける場となりますので、お気軽にご参加ください。来年度のご案内につきましては5月初旬ごろに発送させていただきます。その他大学に対するご要望、ご子女のご心配事等ありましたら、いつでも大学にお問い合わせください。



入試対策講座を開催

12月9日(土)、名城公園キャンパスにて「入試対策講座」を開催し、高校生など500名を超える方の来場がありました。

当日の開講科目は英語、現代文、古文の3科目で、敏腕予備校講師による各講座では、出題傾向に基づいた効率的・効果的な対策方法を伝授。本学の一般試験対策はもちろん、大学入試センター試験対策にも対応した充実の内容で展開しました。さらに、予備校講師から得点力アップの方法を直接聞ける場として「入試対策相談会」を実施。的確なアドバイスに、高校生たちは真剣に聞き入っていました。そのほか、自分に合う受験パターンを解説・アドバイスする

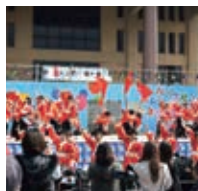
「トリプル判定 徹底解説」、入試・学部について何でも相談できる「入試相談会」、また保護者の方を対象とした「保護者対象説明会」「保護者キャンパスツアー」「人暮らしにかかる費用(家賃・電気・水道・食費など)のシミュレーションや大学周辺の家賃相場の確認ができる「ひとり暮らしセミナー」なども同時開催し、多くの方にご来場いただき盛況に終わることができました。





第65回愛学祭、第4回MKC愛学祭開催

11月3日(金・祝)、4日(土)、第65回愛学祭が日進キャンパスで開催され、約1万名の方が来場しました。新企画として実施したミス愛学を決定するAのC Collectionでは、『魔法にかけられて』のテーマのもと4名のファイナリストがドレスアップして競い合い、島崎稚子さん(商学部商学科3年)が初代グランプリに。模擬店では19団体24店舗の出店があり、Best of Boothには今年で3年目となる東日本ボランティア学生による岩手郷土料理『ひつつみ汁』が選ばれました。また、軽音楽サークルなどによるライブやお化け屋敷をはじめとした室内企画も盛況でした。さらに、アニメ、映画、CMなどのタイアップ曲も多数手がけ人気を集めるロックバンドNICO Touches the Keysのスペシャルライブも開催。最後の打上げ花火で最高の盛り上がりを見せ閉幕しました。



10月15日(日)には、名城公園キャンパスで第4回MKC愛学祭を開催。雨天の中、多くの方が来場しました。天候の影響により中止となった企画も複数ありましたが、子ども向けのビンゴ大会など会場一体となつて盛り上がる企画や、小学生がお店屋さんに挑戦した「こども横丁」、平成29年度に発足した大学生消防団による「防火服着用体験ブース」など、地域の子どもたちと共に楽しむ企画が盛況でした。また、ゼミグループで工夫を凝らして取り組んだ模擬店も好評だったほか、地域連携センターが企画し、名古屋市北区社会福祉協議会とボランティアセンターの学生の協力を経て近隣住民向けの映画上映会も開催。3回の上映でのべ70人ほどが来場し、これまでの学園祭ではお越しいただけなかった高齢の方との交流につながりました。あいにくの雨ながら直前にレИАウト変更をしてコンパクトに開催するなど、今後の開催に向けた良い経験を得られ、盛況のうちに無事、閉幕することができました。



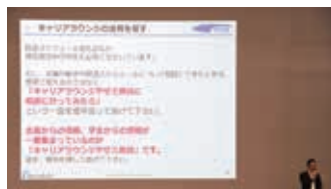
3年生保護者対象就職ガイダンスを開催

11月3日(金・祝)に日進キャンパス、11月5日(日)に名城公園キャンパスにて、3年生保護者を対象に就職ガイダンスが開催されました。両キャンパス合わせて約600名の保護者が参加し盛況のうちに終了しました。

このガイダンスは、これから就職活動をはじめ3年生の保護者の皆さんに今の就職状況等について理解していただき、就職活動をする学生の良きサポーターになっていただけることを目的に実施しており、今年度で5年目を迎えました。

当日は、清水キャリアセンター部長より昨年度卒業した学生の就職決定状況や、現在の4年生の就職内定状況について説明の後、リクナビ編集長の江崎将人氏を講師に招いて、保護者の時代の就職活動と現在の就職活動の仕方の違いや、採用試験のスタイルの違いなどを対比しながら説明するとともに、今の企業がどのような人材を希望し選考しているかなどの就職採用状況の現実についてレクチャー。さらに現在4年生で内定を獲得した学生が登壇し、実際の自分自身の就職活動について生の声で語ることで、近年の就職活動の現状への理解を促しました。

参加した保護者からは、「今の就職活動についてよく理解できた」「就職がしやすい時代でもしっかりと対応しなければならぬ」といった声が多数寄せられ、好景気の時代に就職活動する有利さと同時に現実の厳しさを把握できる機会だったと、非常に高い評価をいただきました。



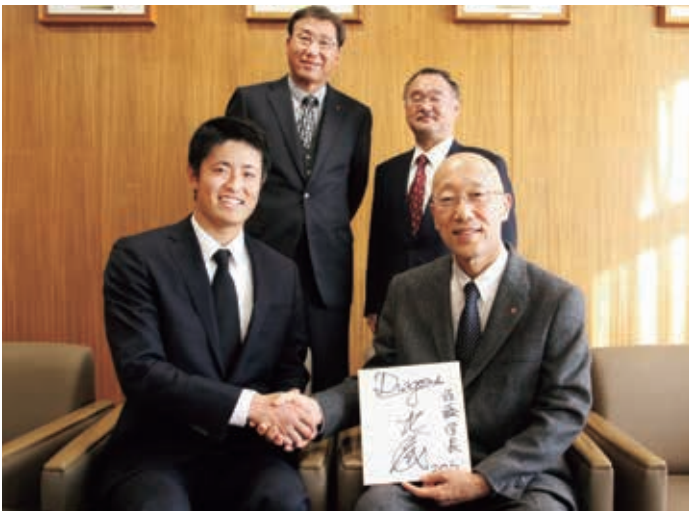
キャリアセンターではこうした好景気の時代だからこそ、安易に就職先を決定するのではなく、しっかりと学生の希望に合った企業の採用に目を向けた指導を行うとともに、これから巣立つ学生が納得できる就職を勝ち取ることができるよう各種プログラムを今後も展開していきます。

是非ともお子さんにキャリアセンターが展開している各種プログラムに参加し活用していただくよう保護者の皆様からもご指導ください。



中日ドラゴンズ育成ドラフト 1位指名の大蔵彰人投手が 母校訪問

12月7日(木)、本法学部卒業生でプロ野球 中日ドラゴンズから育成ドラフト1位指名を受けた大蔵彰人投手が来学。学長、硬式野球部部長、監督を交えて懇談し、今後の抱負について語ってくれました。大蔵投手は、在学中、本学硬式野球部のエースとして活躍。卒業後は、徳島インディゴソックス(四国アイランドリーグ)に入団し、チームの年間総合優勝(四国アイランドリーグプー)に貢献する活躍をしました。10月26日(木)に行なわれた「2017年プロ野球ドラフト会議」にて、中日ドラゴンズから育成ドラフト1位指名を受け、来季よりプロ野球選手として更なる活躍が期待されています。



教員採用試験 合格者報告会を開催

10月27日(金)16時50分より、日進キャンパス1201教室にて平成30年度教員採用試験に合格した4年生による報告会が行われました。教員採用試験の対策を始めた時期や勉強方法をはじめ、クラブ活動やボランティア活動にも力を入れていたことなど、合格までのそれぞれの経験談を発表。「1年生のうちから教職教養の問題集を購入していた」「1日10時間勉強していた」といった報告に、会場にいた1～3年生が驚きながらも熱心にメモを取る姿が見られました。報告会終了後、会場からは多くの質問の聲が上がり、合格した4年生たちは、これから採用試験を受ける1～3年生にむけて丁寧に質問に答えていました。教職支援センターでは、教員をめざす学生の皆さんに向けて今後もさまざまな行事や対策を行い、サポートしていきます。



【相撲部】全日本女子相撲 選手権大会で佐野清香さんが 超軽量50kg未満で初優勝!

10月15日(日)、第22回全日本女子相撲選手権大会が大阪府堺市大浜公園相撲場で行われ、個人戦の超軽量クラスで佐野清香さん(歯学部歯学科1年)が見事、栄冠に輝きました。初戦こそ相手有利な体勢を許し苦しい戦いでしたが、2戦目以降は本来のスピードのある相撲で相手を圧倒。試合後、佐野さんは「この大会のタイトルが欲しかったので、とても嬉しいです。準決勝では今年一度も勝てなかった相手に勝つことができ、これで一気に波に乗れました」と、涙をこらえながら優勝の喜びを語ってくれました。これからも相撲部の応援をお願いします。



【陸上競技部】水野泉之介さんが 29年度トライアスロン ジュニアランキング2位に

陸上競技部に所属する水野泉之介さん(心身科学部健康科学科1年)が「2017 J T Uトライアスロンジュニアランキング」2位でシーズンを終えました。「昨年は6位だったので、今年は3位以内を目標にしていました。目標が達成できて良かったですし、アジア大会にも出場できたことはとても良い経験となりました」という水野さん。オフシーズンは苦手としているランニングを重点にトレーニングし世界戦の出場をめざしたいと、来年の目標についても語ってくれました。





【硬式野球部】 元プロ野球選手の 井上弘昭氏がコーチ就任

本学硬式野球部は、元プロ野球選手の井上弘昭氏を新コーチとして迎えます。井上弘昭氏は、1967年にドラフト1位で広島東洋カープに入団。その後、中日ドラゴンズ、日本ハムファイターズ、西武ライオンズで通算18年間活躍し、現役時代は「ボバイ」の愛称で親しまれた人気選手でした。現役引退後は、テレビ愛知の初代プロ野球解説者、中日ドラゴンズの打撃コーチ、中日スポーツ野球評論家を務められました。11月8日（水）には、学長、硬式野球部部长、監督、学生部長を交えた就任報告会を実施し、今後の抱負や指導方法について語っていただきました。



「禅・茶話の会」放光」を開催

11月22日（水）、名城公園キャンパス放光台（アガルスタワー3階）において、「禅・茶話の会」放光」が開催されました。これは、禅研究所開所50周年を記念して平成27年10月より始まったもので、地域にお住まいの方、ご勤務の方をはじめ、より多くの方に禅に触れていただくことを目的に月に1回夕刻に行っています。およそ1時間の会の前半は椅子坐禅（本格的な坐禅も可）、後半は茶菓をいただきながら禅や仏教のお話を聴くことができます。今回は、本学教養部非常勤講師の山端信祐先生が法話を担当。日常生活の中のお茶を喫することについて、禅や仏教に関連させながら話しました。参加者は時折茶菓を口にしながら、談笑しつつも熱心に話に聞き入っていました。



名古屋市大学生消防団 （愛知学院大学分団）が消防訓練・ 消防連合観閲式に参加

11月11日（土）、名城公園キャンパスで行われた「消防訓練」に名古屋市大学生消防団の愛知学院大学分団25名が参加しました。名城公園キャンパス近隣の清水学区の方々約30名も参加。地震発生に伴うシェイクアウト訓練から大学生消防団が避難者を誘導、名城公園キャンパスから火災が発生した想定で119通報を実施しました。消防隊が駆けつけ、はしご車を使った救助訓練では、アガルスタワーの6階と8階テラスに逃げ遅れた避難者を配置して救助。そして消防ヘリが出動し要救助者をヘリに引き上げ搬送を行ない、最後は北消防署と大学生消防団による一斉放水で訓練を終りました。11月19日（日）には、名古屋市北区の全ての消防団が参加する「平成29年度北区連合観閲式」に参加。総勢500名程度の消防団の中で、大学生消防団も中隊を編成しました。観閲者として河村名古屋市長も列席。名古屋市長告示の際には愛知学院大学の消防団についても紹介していただき、また来賓者の祝辞の中でも大学生消防団に対する期待のお言葉を頂きました。改めて大学生消防団に対する期待を感じ、地域に貢献できるように決意した良い機会となりました。





第54回日本英文学会 で 本学大学院修了生が受賞

10月21日(土)、第54回日本英文学会にて本学大学院修了生の吉村侑久代氏の学位論文「イギリス生まれの日本文学者R・H・ブラリス研究―足跡と業績―」が、平成29年度日本英文学会賞(豊田賞)を受賞しました。吉村氏は文学研究科(英語圏文化専攻)博士前期及び後期課程を修了し、鈴木俊次教授のもとで博士(文学)学位を取得しています。



日本人学生と留学生の 交流イベント ハロウィンパーティを開催

10月30日(月)、日進キャンパスEnglish Loungeにて「ハロウィンパーティ」を開催(国際交流センター・日進市国際交流協会の共催)。後藤正義さん(文学部国際文化学科3年)の英語によるプレゼンテーション、国際交流センターのグレッゴリー・ロウ幹事(グローバル英語学科准教授)のレクチャーによるおぼけカボチャ作りなどを通し、35名ほどの参加者が楽しい時間を過ごしました。



秋の叙勲で 本学関係者が受賞

平成29年11月3日付で発表された秋の叙勲において、本学院関係では、橋本博孔法学研究科客員教授が旭日小綬章(税理士功労)を受章されました。先生の永年にわたる教育・研究の功績に、本学からも敬意を表します。



大学生のための 特別講演会を開催

11月29日(水)、30日(木)、前国連大使・現国際基督教大学特別招聘教授の吉川元偉(もとひで)先生をお招きし、「国際社会における日本の役割」と題した特別講演会を実施しました。前半は、明治以降の日本外交の歩みについて、1945年に敗戦文書に署名し1956年の国連加盟演説をした重光葵外相に焦点を当てた講演を開催。後半の質疑応答では、「国際社会での日本の立ち位置」や「集団的自衛権」などに関する質問を学生が積極的にを行い、今後の学びに繋がる講演会となりました。



図書館情報センター主催 「第6回ブック・アピール・コンテスト」実施

第6回を迎えたブック・アピールコンテストで、本学教員による厳正な審査が行われ入賞作品6点が選ばれました。日進キャンパスの入賞者は11月28日(火)、名城公園キャンパスの入賞者は11月29日(水)に表彰式が行われ、佐藤学長と後藤学長補佐より表彰状と賞品(図書カード)を贈呈しました。なお、入賞作品と書籍は、図書館情報センターのエントランスと名城公園図書館分館2階にて展示しており、書籍の貸し出しを行っています。多くのご応募をいただきありがとうございます。入賞者の皆さまおめでとうございます。

最優秀賞	商学部商学科3年	成田 有芽香
優秀賞	心身科学部心理科3年	中村 祐月
	商学部商学科2年	安保 拓真
佳作	文学部日本文化学科2年	増田 優菜
	商学部商学科2年	川口 銀平
	総合政策学部総合政策学科2年	浅野 広樹



2017年度「科学研究費 助成事業」にて112件、 1億3625万円が採択

文部科学省および独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)の交付内容が発表され、本学の2017年度の採択件数は112件、金額は1億3625万円となりました。

科研費は、全国の大学や研究機関の研究活動に必要な資金を助成する仕組みのひとつ。人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、独創的・先駆的な研究に対する助成する我が国最大規模の競争的資金制度で、社会の困難や障害を突破する画期的な研究成果を多く生み出しています。詳細は本学研究支援課のホームページで <http://shien-c.agu.ac.jp/>

TOPICS

平成29年度 寄付金募集のご案内

平成29年度も本学では施設整備・美化・改修工事を使用目的とした寄付金を募集しております。皆様からのご支援は名城公園キャンパスの第二期整備計画を中心に各キャンパスの教育環境整備の充実と更新事業に充てさせていただきます。本学のさらなる躍進に、ご支援をよろしくお願い申し上げます。手続き等の詳細につきましては郵送いたしました趣意書をご覧ください。なお、本寄付金は任意であり入学前の寄付金の募集は受け付けておりません。

シューカツの現場から

MESSAGE FROM CAREER CENTER

VOL. II



今回のお題

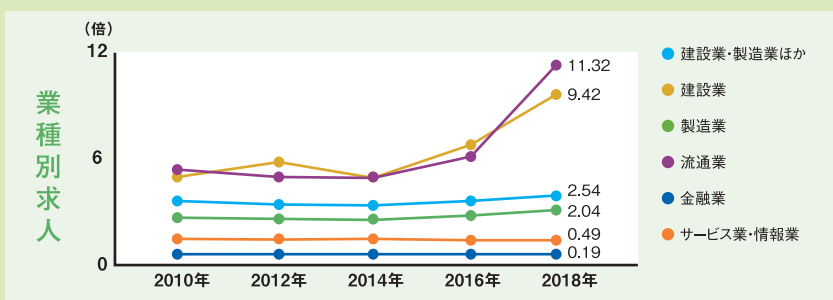
売り手市場

就職活動とは、学生が「自分」という商品の価値を企業にアピールすること。近年は人手不足で企業が採用に積極的になっており、学生にとっては有利な「売り手市場」だと言われています。しかし、業種や会社の規模によって採用実績にはバラつきがあるのが現状。全体像をしっかりと把握して、企業選択や就活の戦略に生かすことが重要です。

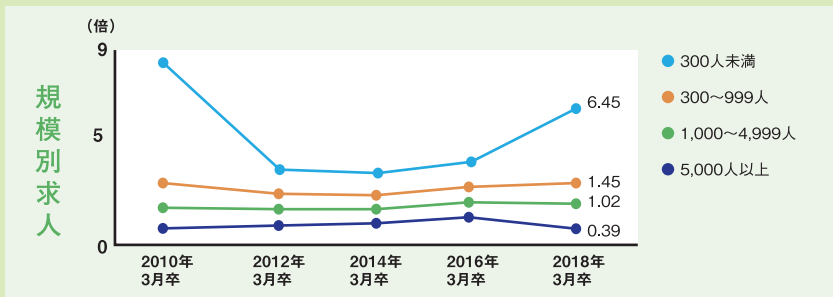
「売り手市場」だから簡単に就職できるわけではない。

「売」り手市場である今は、確かに就職しやすい状況です。しかし、企業は決して採用レベルを下げているわけではなく、むしろ自社で活躍できる人材を厳選して採用する傾向にあります。特に大手企業や金融関係の企業は非常に狭き門となっており、売り手市場だからといって内定獲得は容易ではありません。また、これらの企業は来年3月に就職活動が解禁になるとすぐにエントリーが終了するため、早くからエントリーシートを完成させ、3月1日には企業に提出できるよう準備しておく必要があります。

大手企業、金融は狭き門！



流通、建設業の求人は伸びているが、金融、サービス・情報業の求人倍率は1.0を切っている。



企業の規模が大きくなるほど厳しい状況。 ※リクルートワークス研究所データより

自分の商品価値を高めるカギは「社会人基礎力」の強化。

もちろん、どの企業を志望するにしても、自分をいかにアピールできるかが重要。そのためには自己分析や業界・企業研究をしっかりと、「自分」という商品の価値を効果的にアピールする準備が必要です。また、企業の厳選採用に対応するには社会人基礎力を身につけることが不可欠。キャリアセンターでは、そのためのアドバイスやサポートを手厚く行っています。

キャリアサポート通信

学内就職セミナー&企業研究セミナー開催

3月1日(木)2日(金)3日(土)、270社以上の企業や自治体に参加する学内の合同説明会を開催します。参加企業は例年、愛学生の採用活動を積極的に行っている企業ばかり。「学外の合同説明会よりもじっくりと話を聞ける」「OBがいるから心強い」など、学生からの評判も上々です。また、2月には大手優良企業を約30社ほど学内に招き、業界の特色や企業の特色について、直接人事採用担当者が紹介・説明を行います。

INFORMATION



キャリアセンター伝言板

今後の行事予定

- 1月 ●メイクアップ講座 (女子のみ)
●SPI対策講座
●面接対策講座

- 2月 ●第5回就職ガイダンス (学内セミナー2018の冊子配布、学内セミナーにおける注意点説明、企業解説、今後の就職支援講座の説明等)
●筆記試験直前対策講座 (SPI一般常識、WEBテスト、論文文など各種対策)
●企業研究セミナー(スクール形式)

NEWS

愛知学院大学の 実就職率が全国8位の 実績となりました。

平成29年3月卒業生を対象にした実就職率(就職者数÷[卒業生数-大学院進学者数]×100)が92.4%で、卒業生数2,000人以上の大学ランキングで全国8位となりました。

※「就床率で選ぶ大学2018 AERA MOOK」朝日新聞出版より

研究室探訪

[研究・開発を「進化した薬剤」として結実させる。]



先生の研究分野を
教えてください。

01

**患者さんの負担を減らし、かつ効果的に
機能する薬を探索しています。**

一言に薬といっても、錠剤、カプセル剤、塗り薬、注射で投与するものなどさまざまです。製剤学講座では、薬がより効果的かつ患者さんに負担なく機能する形とその製法を研究しています。例えば、がん患者さんに投与する抗がん剤は、がんを抑えると同時に抜け毛などの副作用も引き起こしてしまいます。これは、患部以外にも抗がん剤が作用した結果です。そこで、がん細胞だけに反応する抗がん剤が開発され、抜け毛や発作など患者さんにかかる負担は減らせるようになってきました。さらに、こうした機能が付与されていれば、少ない投与量で十分な結果が出ます。このように薬を「適切な場所に必要な時間、必要な量だけ届ける」技術はドラッグデリバリーシステム(以下、DDS)と呼ばれ、この講座での主要な研究テーマのひとつです。

今回の訪問先

薬学部 教授
山本 浩充先生

Profile

医師である兄の影響を受けて医療系の道を選択。岐阜薬科大学薬学部助手、フランクフルトゲーテ大学研究員を経て、2006年愛知学院大学薬学部製剤学助教授、2007年准教授。2012年より教授を務める。



研究の成果を教えてください。

02

**インスリンの経口投与を可能に。
患者さんのストレス軽減に貢献しています。**

本講座の製剤技術の特徴として、DDSで用いるナノ単位の粒子に薬を封入する技術が挙げられます。小さな粒子にすると、細胞への薬の吸収率は上がります。その粒子に特定の臓器だけに反応する機能を施して、必要な場所に薬を届けるのです。このとき、薬を封入した粒子は極めて小さくなくてはなりません。一般的には、材料に力をかけて小さくします。けれど、圧力や熱に弱い薬には向きません。そこで私たちは、溶液から粒子を得る方法を開発し、DDSで利用できる薬の拡大に成功しました。例えば、糖尿病患者に投与するインスリン。口から飲むと小腸で分解されるため、注射での投与が基本でした。本講座では、微細化したインスリンを粒子に封入し、経口投与でもきちんと効果の出る形にしました。患者さんにとっては、日々の注射のストレスも減る薬剤です。



check!

ナノ粒子を活用し、水に溶けにくい溶解性改善の研究にも注力。こうした技術を化粧品や健康食品の開発に展開した実績もあります。



学びは社会で
どのように生かされますか?

03

**薬剤師や製薬メーカーの社員として
医療現場に貢献できます。**

製剤学は、研究が実際の薬の形として結実する分野です。本講座には、ものづくり志向の強い学生がたくさんいます。また、薬学部というと薬剤師になるイメージが強いかもしれませんが、製薬メーカーに就職する卒業生も多く、ゼミでは製薬工場の見学や製薬会社の方の話を聞く機会も設けています。研究では、患者さんや医療現場の人が「より使いやすい薬の形」とをこころ追求。最初は、先輩の指示に従って実験を繰り返す日々ですが、繰り返すうちに自分から提案する力がつき起こった事象に対して、次の可能性を探れるようになるのです。医療現場では、患者さんそれぞれに病状は異なります。どんな患者さんにも臨機応変に治療方法を導き出せる。そんな力を活かすための知識と経験の土台を築いて欲しいと思っています。



check!

4年生の秋に所属講座が決定。先輩や先生との共同研究を通して、チームで目的を成し遂げる力も養われます。